

自他を大切にしたい自己表現のできる生徒の育成

—他者と関わり、学び合う活動を取り入れた授業を通して—

特別研修員 生徒指導・教育相談 三澤葵（高等学校教諭）

【生徒の実態】

- ・自分の考えを伝えることに不安を感じる生徒が見られる。
- ・インターネットを利用したコミュニケーションで嫌な思いをしたことがある生徒が少なくない。

【高等学校学習指導要領情報編】

- ・効果的にコミュニケーションを行う能力
- ・情報社会に積極的に参画する態度

【群馬県教育委員会運営方針】

- ・自他を大切にすること
- ・良好な人間関係を築く力

【目指す生徒像】 自他を大切にしたい自己表現のできる生徒

アサーティブな（自他を大切にしたい）
自己表現を活用した情報科授業

実践①

電話やインターネットの特徴を踏まえ、適切なコミュニケーションの手段や表現を考える活動

手立て①

《ワークシート等の工夫》

- 日常における友人とのやりとりを想定し、アサーティブな表現を考える欄を設定。

手立て②

《グループ学習の工夫》

- グループごとにロールプレイを取り入れた、適切なコミュニケーションの手段や表現を考える場の設定。

実践②

知的財産権等の事例調査や発表を通して、自他を大切にしたい態度を育む活動

手立て①

《ワークシート等の工夫》

- アサーティブな表現で発表の感想を記入する欄の設定。
- 交換した付箋を貼る欄の設定。
- 発表の記録を取る欄の設定。

手立て②

《グループ学習の工夫》

- 司会や発表順を生徒主体で決定。
- 自ら選択した課題によるグループ編制。

アサーティブな表現の活用

- 自他を大切にしたい態度
- 主体的に他者と関わる態度
- 効果的にコミュニケーションを行う能力

発表を聴いてすごく勉強になった。自分にはない視点で調べていてすごいと思った。

【○成果と●課題】

- 振り返りシートから96.8%の生徒が「相手を思いやって行動しよう意識するようになった」と回答しており、アサーティブな自己表現を学習したことで、自他を大切にしたい態度を育成できたと考えられる。
- 生徒主体のグループ学習を実施したことで、他者の発表時に自然と拍手が起こったり、自分の考えや質問を積極的に他者に伝えようとしたりする姿が見られるようになった。
- 数名ではあるが、自他を大切にしたい自己表現をすることが上手にできない生徒も見られた。今後は授業内で計画的・継続的に自己表現をする活動を多く取り入れていきたい。